



老蘇学区で災害ボランティアセンター 設置運営訓練を実施しました

昨年12月8日、老蘇学区コミュニティセンターにおいて、災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施しました。この訓練は、災害発生時に被災者の困りごとに寄り添い、ボランティアの力を借りて生活の復旧・復興に向けた福祉救援活動を円滑に行うことを目的としています。

訓練は、①本部・サテライトの設置運営訓練②寄せられた支援ニーズの検証訓練③自治会域における聞き取り訓練の3部構成で行いました。

訓練には103名の参加をいただき、老蘇学区まちづくり協議会、学区社会福祉協議会をはじめ、地域住民の皆様には、駐車場整理や会場設営、運営補助など、ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

今回の訓練を通じて、災害発生時における関係機関との連携体制や、困っている人にボランティアの力を届けるための効果的な運営方法について具体的な検証ができました。今後も地域の防災力向上に向けて、継続的な取り組みを進めてまいります。

目次

老蘇学区で災害ボランティアセンター 設置運営訓練を実施……………	1
年頭あいさつ・ボランティア交流会……………	2
賛助会費・実習生の受入について……………	3
民児協富士宮市との交流研修会・ 市民児協タブレットの使用について……………	4
地域相談員研修・ おもちゃの図書館すくすくちゃん……………	5
相談支援事業所紹介・ 市職員フードドライブ……………	6
ふくしでまちづくり座談会・ 学区社協交流会……………	7
お知らせ(心配ごと相談・善意銀行など) かんき建設より寄付……………	8



年頭にあたって

市民の皆さん、新年明けましておめでとうございます。お健やかに、よき新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

旧年中は社協事業の各般にわたり、ご指導ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。また、共同募金を始めとして財政支援等、心温まるご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、新年元日に能登半島大地震が発生し、同地をはじめ幾度となく各地で豪雨災害に見舞われました。また、コロナ禍による社会の変容も相まって、人と人とのつながりの希薄化、孤独・孤立や貧困等の問題の深刻化や、甚大な被害をもたらす自然災害の増加など地域社会が直面する課題はますます複雑化しています。

本年は、第3次近江八幡市地域福祉活動計画仕上げの年度となります。「困ったときはお互いさま」の地域づくりができるかが、全体を貫く重要なテーマであります。また、社会を俯瞰すると、〇〇ファーストとの言辞のもと、理想よりも日々のご飯を、との方向が強く映し出される社会現象が生まれつつありますが、社会福祉とは誰もが幸せになる社会実現のためのお手伝いをさせていただくことであると認識し、事業の理念や目的・カテゴリーをもって「地域福祉の推進」に向け一層努力してまいりますので、今後もますますご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆さんのご多幸とご健勝をお祈り申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

令和7年1月1日

近江八幡市社会福祉協議会会長 嶋本 深 照



「令和6年度ボランティア交流会」を開催！



＜グループに分かれての交流＞



＜クイズに参加する参加者の皆さん＞

12月3日、「令和6年度ボランティア交流会」を開催しました。ボランティア交流会は、ボランティア団体同士の横のつながりを強め、活動のヒントやきっかけ作りを提供することを目的として年に1回開催しています。

今年も様々な分野で活躍するボランティア団体から多くの参加者が集まりました。最初に、『地域子ども食堂 野間亭』と傾聴ボランティア『うさぎのみみ』から、活動紹介と活動に関連したクイズを出していただきました。続いて、『安土手話サークル絆』で長年にわたって活動されている林ノゾミさんから、参加者の皆さんの心に響くボランティア経験談をお話していただきました。

その後、グループに分かれて交流を行い、林さんのお話を聞いての感想や、それぞれのボランティア団体の良いところについて話し合いました。今回の交流会を通じて、生まれたつながりを今後の活動に活かしていただきたいと思います。

市内には130を超える様々なボランティア団体が活動されています。活動に興味のある方は市社協までお問い合わせください。

賛助会費にご協力いただいた皆さま、

たいへんありがとうございます。

合計 **470,000円**

※敬称略順不同で掲載しています。

八幡学区社会福祉協議会

三原康郎税理士事務所

金田学区社会福祉協議会

社会福祉法人サルビア会

北里学区社会福祉協議会

有限会社草津介護センター

武佐学区社会福祉協議会

社会福祉法人蒲生野会

老蘇学区社会福祉協議会

公益財団法人近江兄弟社 ヴォーリス老健センター

島学区まちづくり協議会

近江八幡市安土赤十字奉仕団

北里学区まちづくり協議会

近江八幡市赤十字奉仕団

武佐学区まちづくり協議会

近江八幡地区更生保護女性会

老蘇学区まちづくり協議会

グリーン近江農業協同組合八幡東支店

八幡学区自治連合会

社会福祉法人近江兄弟社地塩会ケアハウス信愛館

島学区自治連合会

近江八幡市身体障害者厚生会

馬淵学区自治連合会

三河自動車株式会社

北里学区自治連合会

合同会社びわこ福祉会

武佐学区自治連合会

近江八幡保護区保護司会

老蘇学区自治連合会

近江八幡市遺族会

八幡学区民生委員児童委員協議会

近江八幡市役所職員

岡山学区民生委員児童委員協議会

近江八幡市総合医療センター職員

桐原学区民生委員児童委員協議会

近江八幡市立小学校職員

金田学区民生委員児童委員協議会

近江八幡市立幼稚園職員

北里学区民生委員児童委員協議会

近江八幡市社会福祉協議会役職員

馬淵学区民生委員児童委員協議会

西村恵美子

武佐学区民生委員児童委員協議会

矢野王子

安土学区民生委員児童委員協議会

重野昭

老蘇学区民生委員児童委員協議会

金澤満

株式会社ライフ

石田幸代

株式会社竹内モータース

末房松三

株式会社スマイル&マインド

浜田久美子

社会福祉実習生を受け入れています！

当会では、福祉人財の育成および、当会職員の福祉専門職としての自覚と資質向上を目的に社会福祉実習生を受け入れています。

今年度は、3か所の社会福祉士養成校（大学、専門学校等）から4名の実習生が180時間、1名が60時間、社協職員に同行しながら、地域福祉の推進業務や個別相談支援業務を経験し、社協の役割や地域の福祉課題の解決方法を学び考えています。実習生は、社会福祉の専門職である社会福祉士の国家資格取得をめざしています。近い将来、社会福祉課題の解決に向けて、ともに働く、近江八幡の福祉人の育成につながればと期待しています。

HIYOSHI

引越・リフォーム、ハウスクリーニングの
粗大ごみ収集・片付け

排水管のつまりを解決!!

株式会社日吉

ご用命は排水洗浄担当 ごみ収集担当へ!!

TEL (0748) 32-5555

『安心整備で 安全運転を!!。』

竹内モータース・グループ

(株)竹内モータース
近江八幡市出町429-7
TEL: 0748-33-2266

(株)ホーコー
近江八幡市若宮町213-3
TEL: 0748-37-3048

近江八幡市民生委員・児童委員協議会会長会 静岡視察研修 (10月23日～24日)

10月23日 (1日目)

富士宮市の民児協と交流研修会を行いました。

富士宮市は、近江八幡市と夫婦都市になって56年、これまでもお互いの民児協で交流を続けてきました。今回の研修会では、両市の自治会単位での状況報告や取り組み事例の紹介などを中心に、情報交換することができました。会場となった富士宮市役所7階のロビーからは、目の前に壮大な富士山が眺められる…はずでしたが、あいにく当日は雨で厚い雲に覆われていました。しかし、大変友好的な富士宮市の民児協の皆様、職員の方々に温かく迎えていただき、夫婦都市としての絆を感じさせられる交流会となりました。



富士宮市、近江八幡市民児協集合写真



交流研修会の様子

10月24日 (2日目)

静岡県富士山世界遺産センターで疑似登山体験をしながら富士山について学んだ後、袋井市に移動して、社会福祉法人デンマーク牧場福祉会を視察しました。デンマーク牧場は、特別養護老人ホーム、児童養護施設、自立援助ホーム、精神科診療所の複合施設で、牧場事業をしながら幅広い年齢層の福祉事業に取り組んでおられ、地域との連携など多くの事を学ばせていただきました。施設の皆さんが作られた乳製品や羊毛グッズの購入という形で活動の協力をさせていただきました。

近江八幡市民児協会長会メンバー
富士山世界遺産センターにて



お土産の手作りうちわ
富士宮キャラクター
“さくやちゃん”



民児協会会長会タブレット講習会

社協では、民生委員・児童委員との連携強化を目的に各学区民児協会会長および主任児童委員代表、事務局用にタブレットを購入し、貸与の準備を進めています。

導入にあたり、毎月の民児協会会長会定例会議に合わせて、タブレット講習会を開催しています。初歩的な操作方法からメールの送受信、googleドライブの使用、Zoom会議の操作など、少しずつ習得していき、民生委員活動の円滑化、負担軽減、ペーパーレス化を推進してまいります。



Zoom会議の操作を練習中

令和6年度 第2回 地域相談員研修開催

「ひきこもりの理解に役立つ基礎知識とサポート～支えあいの地域に向けて～」

困った時に相談できる人がいて支援につながる地域をめざして、民生委員・児童委員（心配ごと相談員を含む）、学区生活支援グループサポーター、傾聴ボランティアを対象に地域相談員研修を開催しました。

相談員の知識と傾聴の技術向上を目的に12月の研修では、「ひきこもり」について基本的な知識と当事者の現状、家族の思いをどのように受け止めれば良いかを学びました。

講師は「ひきこもり問題」の中核を担う滋賀県ひきこもりセンターの専門職、また、圏域保健所の保健師のお二人で36名が参加しました。



地域では、ひきこもりを誤解や偏見で見ることなく正しく理解し、見守りながら、挨拶や雑談が出来る関係づくりをし、「心配してるよ」というメッセージを発信していく事が大事と学びました。

参加者の感想では「サポートには慎重な態度、言葉が必要だと感じた。」「家族にもなかなか言葉をかけづらいと思っていたけれど、どのように接していくのが良いのか、少し出来るかもと思った。」等があり、大変学びの深い研修になりました。

おもちゃの図書館すくすくちゃん

「おもちゃの図書館すくすくちゃん」は、障がいのある子どものお母さんから遊ぶ場がなく、みんなで遊べる場が欲しいと相談を受けたのがきっかけで、お母さん方と一緒に平成28年12月にボランティアグループが立ち上げられました。子どもから高齢者まで様々な世代間交流ができる遊びの広場を作ろうということになり、介護事業を行っている「NPO法人子育てサポートおうみはちまんすくすく」の、デイサービスセンターの利用者と地域の子どもたちが一緒に遊ぶ、交流の場としてスタートしました。



平成29年4月には古民家のオーナーから子どもが交流できる場として開放したいと声がかかり、町屋がもつ良さを伝え、子どもの育ちをその中で応援しようと開設されました。コロナ後も、人数を減らしながら活動されています。月例の活動と合わせて0歳から100歳までが集う広場を年1回、これまで8年間、開催されています。

交流日には、ミュージックケアとして音楽に合わせて鈴や鳴子を鳴らしたり、たくさんのビニール袋をすくって宙に舞わせて遊んだり、絵本の読み聞かせなどみんなが交流できる遊びや、家ではできない遊びをされています。

活動は月1回第3月曜日の10時から11時30分で、ボランティア4人が、年親子5組限定で行われています。募集は3月に行われ、兄弟でリピートされる方も多いそうです。



代表の榎原かず子さんは「ほっとして楽しいひと時を過ごせるような場なので、1回来てみたいと思われたら声をかけていただけたらうれしいと思っています。遊びの場の選択肢の一つとして考えていただけたらと思います。」と笑顔で話しておられました。

問い合わせ先：NPO法人子育てサポートおうみはちまんすくすく
連絡先：0748-31-3320

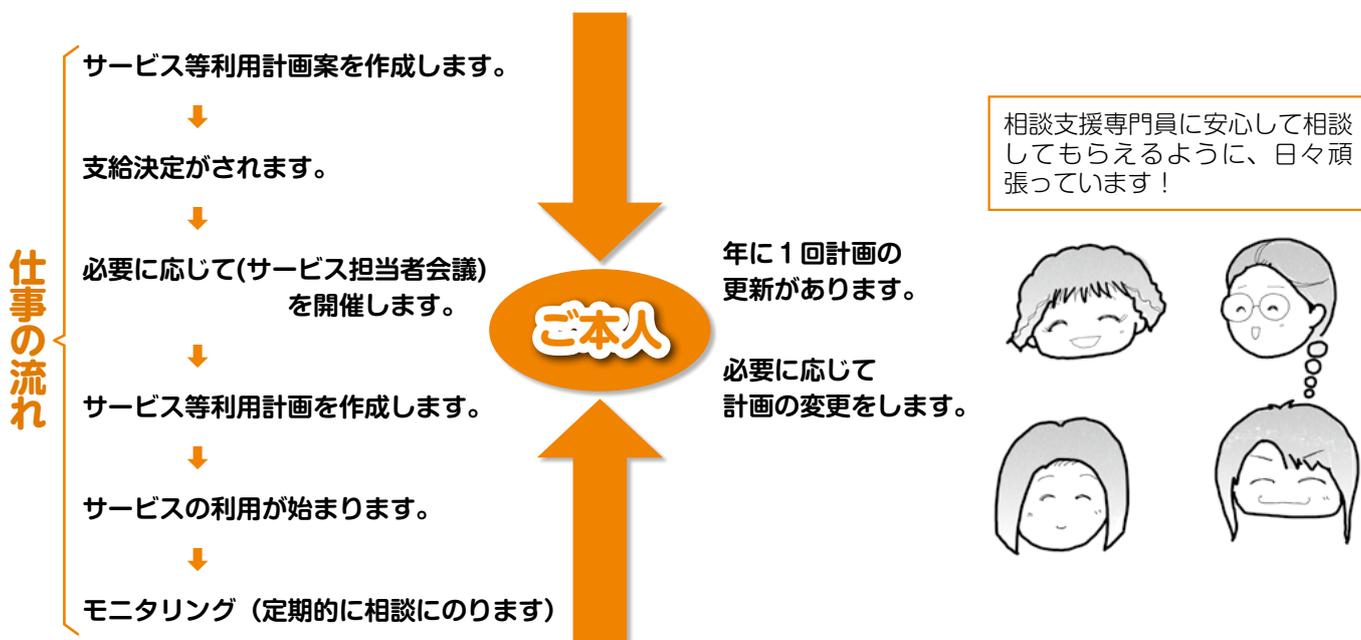
社協の相談支援事業所を紹介します。

相談支援事業所は、障害者総合支援法に基づき、障がいのある方の相談にのりながら、サービス等利用計画を作成しています。

利用者（障がい児・者）にあった障がい福祉サービスを提供します。

障がい福祉サービス

身体介護・家事援助(ホームヘルプ) 重度訪問介護 行動援護 同行援護 移動支援
日中一時支援 短期入所 共同生活援助(グループホーム) など



利用者（障がい児・者）と各機関との連携の窓口となります。

各機関との連携

家族 学校教育機関 医療 県 市(障がい福祉課・福祉政策課) 保健センター
作業所 放課後等デイサービス ヘルパー事業所 など

○ガイドヘルプひまわりを併設しています。視覚障がいのある方に、ガイドヘルパー（移動サポート）を派遣しています。

近江八幡市職員のみなさんより食品をご寄付いただきました

市生活環境課の呼びかけで、10月の食品ロス削減月間に、職員を対象に、家庭で余っている食品を地域福祉活動などに役立てる目的で「近江八幡市職員フードドライブ」として集められました。

お米やレトルト食品、麺類、缶詰、お菓子など98点16Kgあまりの食品を、社協にご寄付いただきました。

お預かりした食品は、生活にお困りの方への支援や、市内の子ども食堂実施団体へお渡ししました。ありがとうございました。

なお、市社協では、お米やレトルト食品、缶詰など賞味期限が3か月以上ある食品のご寄付を受け付けていますので、ご支援をお願いします。詳細はお問い合わせください。



「馬淵学区ふくしでまちづくり座談会」を開催しました!



11月20日、馬淵コミュニティセンターにて「馬淵学区ふくしでまちづくり座談会」を開催しました。昨年度に引き続き、2回目の開催となります。馬淵学区は市内で2番目に高齢化が進んでおり、買い物や送迎などの外出時に移動手段で困っている方が多く見られます。今年度の座談会では、送迎も含めた生活支援の課題について、福祉事業所や地域包括支援センター、行政の方々にも参加していただき一緒に考えました。

送迎の事例発表として、島学区まちづくり協議会から「島学区ちょこっとサービス」が紹介されました。また、市社協からは安土学区生活支援グループ「ともに」の送迎を含む生活支援の活動紹介を行いました。その後、グループに分かれて話し合いを行い、馬淵学区で必要とされる生活支援について意見を出し合いました。参加された皆さんからは、「馬淵学区でも送迎支援をしていかないといけない」「運転手の確保が課題」等の感想をいただきました。この座談会を通じて、地域の現状や課題を共有し、より良い生活支援を実現するための一歩を踏み出すことができました。

学区社協交流会を開催しました

学区社協交流会は、市内10学区の学区社会福祉協議会に関わる皆さんにお集まりいただき、それぞれの学区の情報交換や意見交流をする場として毎年開催しています。

今年度は45名の参加があり、「これからの地域福祉推進基盤のあり方検討会」に取り組まれている北里学区、桐原学区から取り組み内容について報告いただきました。参加された皆さんからは「参考になった」「学区の課題には共通点が多い」という感想が多く寄せられました。今後も引き続き、このような各学区での活動について情報交換できる場を開催してまいります。



地域福祉の推進基盤のあり方について「今、何が課題になっているか」「各学区で何を検討していく必要があるか」などの意見が交わされました。

心配ごと 相談所

どこに相談すればよいのか…。
そんな時は、近江八幡市社会福祉協議会へお気軽にご相談ください。
民生委員・児童委員が相談を聴いて、行政や関係機関につなげます。

相談日：平日の偶数日（祝日を除く） 13時～16時
場 所：総合福祉センターひまわり館

1月 2025							2月 2025							3月 2025						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4							1							1
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8	2	3	4	5	6	7	8
12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15	9	10	11	12	13	14	15
19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22	16	17	18	19	20	21	22
26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28		23	24	25	26	27	28	29
														30	31					



ありがとうございます！

善意銀行便り

令和6年10月1日～令和6年11月30日

預託

●寄付金

- 匿名1件…………… 2,088円

●寄付物品

- 近江八幡市職員一同…………… 米2kg
食料品97点
- 成和クラブ…………… タオル31枚
- 近江八幡地方労働者福祉協議会
…………… 食料品31点
- 匿名8件…………… 米15kg
食料品59点
食材5kg
日用品1点

払出

●払出物品

- 子ども食堂13か所…… 食料品162点
- 障がい者施設1か所…………… 米10kg
- 学区まちづくり協議会1か所
…………… 折り紙10点
- 広域居場所実施団体1か所
…………… 米10kg
- 生活困窮者…………… 食料品15件
日用品1件

心温かいご寄付をいただきました。
皆さまのご厚意に感謝申し上げます。
社会福祉や地域福祉活動に活用させていただきます。
(敬称略・順不同)

ありがとうございます！ かんき建設リボーン倶楽部から10万円の寄付！

12月3日、株式会社かんき建設かんき建設リボーン倶楽部（皆黒幸男会長：50社を超える協力会社）は、今年も「地域福祉の推進に」と10万円を寄付。藤田事務局長から「毎年ご援助いただき、ありがとうございます。大切にに使わせていただきます」とお礼をお伝えしました。



リボーン倶楽部の皆さん

編集 後記

新年あけましておめでとうございます。令和7年を迎えました。皆様にとって笑顔あふれる幸せな1年になる事を心からお祈り申し上げます。
市社協では、本年も地域福祉の推進に努めてまいります。どうぞよろしくお願い致します。
まだまだ寒さ厳しい季節ですがどうぞご自愛ください。



- インキ：環境配慮型インキ（植物油インキ or ノンVOCインキ）
- 印刷：有害な廃液を排出しない水なし印刷



この広報紙は会費と共同募金の
助成金でつくられています

令和7年1月1日発行

ふくしのお困りごとは市社協まで！ 0748-32-6111